



(特定非営利活動法人)

NPO法人 ワンニャン会

会 報 第 17 号 2022.9

はじめての地域猫活動

田端 祥世

今年3月、知り合いから「知人が野良猫の世話をしているが、猫が増えてしまって困っているようだ」という相談がありました。長年、自費で何匹も手術してお世話をしてきたが、最近数が増えて個人の力の限界かもしれないというお話でした。

ワンニャン会でボランティア活動をお手伝いしていて「地域猫」という取り組みを知っていたので「一緒にやってみませんか？」と連絡を取ってみました。

地域猫対策とは猫を不要なものとして排除するのではなく、今いる野良猫を命あるものとしてとらえ、うまくつきあいながら、その数と、糞尿などの被害を減らそうとする対策です。和歌山県では条例を定め地域猫対策を推進しています。県条例の基準にもとづき、保健所長の認定を受けた地域猫対策活動については、県の予算の範囲内において手術券などの支援を受けることができます。

※参照：和歌山県のホームページおよび地域猫対策ガイドブック

今回、地域猫対策の認定・支援を受けたいという方の参考になればと思い、私たちの場合の経過を簡単にご紹介したいと思います。

といっても私も具体的な申請方法や手順まで知らなかったもので、ワンニャン会さんに連絡をし、ボランティアルームに相談者さんと一緒に行くことになりました。

県の支援を受け、地域猫対策を行うには…

①「地域猫対策計画認定申請書」を作成し、対策を行う場所を管轄する保健所に提出し認定を受ける

⇒地域猫対策活動を行うには自治会長の承認、周辺住民への周知や不妊手術を行う猫に飼い主がないことの確認が必要であることなど、いろいろ教えていただきました

た。提出に必要な書類等は全部用意されていて、記入も手伝っていただけるのですぐに準備ができました。自治会長に同意書をもらい、対策の対象となる猫のリストなどの書類が揃うと、ワンちゃん会さんの方で保健所に提出もしていただきました。

②周辺住民への説明

⇒次に、提出した計画書を基に保健所から指定された範囲の住民に今回の対策の案内を配布し、広報活動を行います。こちらボランティアさんが協力してくれて、手分けして行くと1時間もかからず終わりました。

③計画の認定を受けた後は支援申請書を作成し、対策を行う場所を管轄する保健所に提出

⇒実際に世話を担当する人に認定を受けた地域猫活動であることを示す「標章及び腕章」が交付されます。あとは「不妊去勢手術にかかる無料手術券の交付」を受けるために支援申請書を作成し、提出します。(書類が多く手続きが煩雑に思われますが、提出や保健所とのやりとりまで手伝っていただけるので意外と簡単です！)

④手術券の発行

⇒手術券が発行されると、いよいよ対象となる猫たちを捕獲し、担当の動物病院に搬送し、手術…ということになります。

今回の現場は依頼者さんが頑張っていて自分で捕獲を進めていますが、一人で難しい場合、猫を捕まえる捕獲おりの貸し出し、猫の捕獲、担当の動物病院の手配、動物病院までの搬送など、ボランティアさんに手伝ってもらうこともできます。



不妊手術が済んだ猫たちは手術が済んだしるしとして耳にV字カットを入れ、区別できるようにします。以降、地域の担当者に餌と排泄物を管理してもらい、猫たちは出来るだけ快適に長生きできるように見守られて生きていけます。人懐っこく人間が好きな子なら、新たに家族に迎えられおうちの子になればさらに最高です。



ネコ好きは集まるとすぐネコの話をしてします。ネコ好きは何故か自分の家のネコ以外のネコの話も大好きです(ですよね?)。野良猫の話もよくします。ネコ好きネットワークで「近所の野良猫が増えた、不妊手術の費用や近所トラブルなどで困っている(という人がいる)」そんな話も耳にすることがあると思います。かわいそうで放っておけなくて…という優しい理由から、また他人に迷惑は掛けられないと一人で問題を抱え込んでいる人も多いと思います。

悩みを抱えている方、「地域猫活動」で問題を解決しませんか？

またそんなお悩み相談を受けた方、身近で困っている人を見つけた方、ぜひ「地域猫活動」のことを教えてあげてください。

やってみれば意外と簡単！協力してくれるボランティアさんもいます。本当にいろいろなサポートが受けられます。何ととっても猫の事に詳しいボランティアさんがいろいろ味方になってくれますから。

どうぞこのレポートが「やってみるか！」「いっしょにやってみませんか？」というきっかけになればと思います。

年老いた猫

おうちゃん☆ララちゃん

ある家に行くと、一匹の猫が暮らしていた。

名前は、「ラッキー」、飼い主さんは、一人暮らしの高齢者で病気で入院中。入院する最後の最後の日まで、ラッキーがいるから入院を拒んでいた。飼い主さんの状態が悪くなり、ラッキーは室内に残された。一日一回世話人の方が、餌をやりについていたそうだが、部屋を見た感じ、猫の砂トイレがカチカチでいつからトイレも掃除できていないのか見て分かる。

ラッキーはすんなり捕獲でき、とりあえず家に連れて帰る。飼い主さんには、身寄りがいない。ラッキーは十歳くらいオス猫としか情報がない。動物病院に連れて行くとメス猫ということが分かった。一週間もしたら家にもなれ、家の中をパトロールしたり、のびのび暮らす様にもなる。我が家には、二匹の猫がおりこのまま三匹とも考えたが、猫の中でも仲間意識、テリトリーがある。我が家の猫が今まで寝ていた場所を取られ怒り出す。経済的にも、餌の減りも早く医療費も考えると、我が家は二匹がベスト。そんな時に、ワンニャン会さんに相談にのってもらおう。新しい飼い主さん候補が見つかった。保護して四カ月になった頃にお試しで会って見たいという声がかかる。

新しい先で落ち着き、このまま引き取りたいと報告を受けた日には涙がこぼれた。



高齢になり、ペットを飼うという決断を簡単にしないで下さい。新しく生まれた命を育てたい、それは何年生きるか分からない命ですが、例えば十五年後の自分の生活を想像してみてください。自分が健康ではなくなった時、残されたペットを誰が見てくれますか？後継者を見つけてから飼って下さい。動物の最期を看取れるまで考えて飼って下さい。動物の最期は、また医療費も高額になってきます。

飼うなら、生まれて間もない動物ではなくても良いと思いませんか？お互いが、最期まで一緒に居られる幸せを願うなら……。

地域猫対策 始めます

川本 京

ずっと猫との生活が当たり前だった。ずっと、野良猫を保護して家族に迎え入れてきた。

でも、近所の野良猫が気になり、餌を与えることもしてきた。そのため、避妊・去勢手術も進めてきたが、やはり野良猫は絶えない。いたちごっこは、ずっと続いている。

私の住む地域では、まだ地域猫対策は浸透していない。同じ地域に住む母が、ワンニャン会に相談したことで地域猫対策を始めることになった。そのために、近隣住民への説明を始めると、「猫が増えるのは餌を与えるから」という人がいた。猫の糞害を訴えるその人には、地域猫対策が猫の適正飼育をすることで地域の環境改善を図ると理解していただくのは難しいと感じた。

そもそも、猫が嫌いな人もいる。思想信条の自由を脅かすわけにはいかないのに、そんな人には、動物の命を守ることになると理解していただくのはさらに難しいと感じた。「地域の課題として取り組むので、話を聞いてほしい」と伝えている。

そして今回、地域のビラを配ったその内の一軒から中本さんに、「野良猫の世話をしているの、私もビラを配りたい」との申し出があったそう。近くに力になって協力していただける方がおられることがわかり、何より心強く感じ、大きな希望を抱けた。

過去には、地域で飼育環境が余り良くないのではないかとと思われる犬がいて、母親が散歩を申し出たり、看取りまでした犬達もいた。決して飼い主が食事を与えないとか、虐待するとかではないが、動物福祉の観点から考えると、飼育環境をどうにか改善したいと思ったことがあった。母の申し出を、どの飼い主さんも快く受け入れてくれたから良かったものの、そんな方ばかりではないことは百も承知している。今から思うと、人間同士が理解・協力できたからこそ行えたことだったと思う。

地域猫対策を始めるにあたり、その体験が蘇り、今回も住民同士がまずお互いに様々な形で協力していく関係性を築いていくことが大切ではないかと思えてきた。

実は、家にはペットショップから購入した猫がいる。絶対に購入しないと決めていたが、売れ残った猫を見続けていると、あのショーケースから連れ出そうと思った。いろんな意見があると思うが、目の前にいる動物もまた保護すべき対象として受け留めたから。

動物愛護法が改正したものの、まだまだ日本は先進国の中で、動物福祉の考え方は遅れている。動物が、法律では「物」として扱われていることが影響しているのではないかと思える。その国の事情もあるが、動物保護の先進国であるドイツやイギリスなどの施策には関心がある。なぜ、日本ではもっと、動物福祉の考え方が進まないのだろうか。

「アニマルウェルフェア」とは、人間が動物に対して与える痛みやストレスなどの苦痛を最小限に抑える配慮により、動物の待遇を改善しようとする考えである。



もっと、問題意識を持って、知ろう。学習しよう。そして、関わっていこう。それぞれに、できることがあるはずだと思う。



奇跡の再会

志波 茂代

私は野良猫がいると聞くと放っておけない程の猫好きです。10年前、まるちゃんも野良猫でガリガリに痩せていたので、家に連れて帰って面倒をみることにしました。

「あっ！まるちゃんがない」

昨年8月30日の朝、ドアを開けるとまるちゃんの姿が見当たりません。

昨夜ドアを開けた時に逃げ出したに違いない。

「まるちゃん～、まるちゃん～」と何度も呼びながら探したのですが、見つからず諦めていた時、隣のブロック塀にまるちゃんの姿が。「まるちゃん～」と呼ぶと 走って逃げてしまいどこかへ行ってしまいました。

まるちゃんが家に来た頃 一度逃げ出したのですがすぐに帰ってきたので、ドアを開けて待つことにしました。しかし一週間経っても2週間経っても帰ってきません。

「早く帰ってきてよお。お母さんもトラまるくん(猫)も待っているから～。お願いだから～。」と祈る毎日でした。

近所を探し回る日々が続きました。ある日まるちゃんらしい猫を見かけたと言う方に出会い、次に見かけたら連絡くださるようお願いしました。しかし連絡はありませんでした。途方に暮れていると 別の方から目撃情報があり、行ってみたのですが姿はなく心配は募るばかりでした。また 野良猫ちゃんに餌をあげている方から何度か食べに来ているとの話を聞き、あるお宅に捕獲器を置かせていただくことにしました。捕獲器は自宅から持って行き設置したのですが、他の猫が入ってなかなかまるちゃんを捕まえることが出来ませんでした。

(絶対どこかで生きています。帰ってくる。)と信じていました。



今年の1月22日。

ワンちゃん会の LINE を見ていたら里親募集の写真がありまるちゃんにそっくりな猫。

「間違いない、まるちゃんだ！」

確認のために保護されている谷本さん宅に行くと、私の知っている方の家でびっくり！動物好きの優しい方に保護されていて感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。逃げ回るまるちゃんを捕まえて、自宅まで一緒に送り届けてくださいました。

8月30日から1月22日までの約146日ぶりにまるちゃんが家に帰ってきました。3ヶ月前 万呂のガード下にまるちゃんの子猫の一匹と一緒にいたことがわかりました。

雨の日も風の日もエサやりをしてくださった方、捕獲をお手伝いして下さった方々、保護をしてくださった方々、皆様のおかげで無事にまるちゃんが帰ってくることができました。お世話になりありがとうございました。

3ヶ月間一緒にいてくれた子猫のニコちゃん、まるちゃんは元気です。ニコちゃんも新しい飼い主さんの元で幸せな毎日を過ごしていたので安心しました。

人と人との繋がりで奇跡の再会に感謝！感謝！感謝！本当にありがとうございました。

その後のまるちゃんは隙あらば逃げ出そうとしていますが、私もあのような心配は懲り懲りです。十分注意しています。

事業報告

～通年事業～

- ※和歌山県地域猫対策支援事業
- ※飼い主のいない猫の不妊、去勢手術事業
- ※犬と猫の譲渡、飼い方相談
- ※ドッグラン「リン」運営
- ※犬猫飼い方しつけ相談

～2021年度活動内容～

- 9月20日～10月20日 和歌山県動物愛護フェスティバルオンライン配信「地域猫対策のすすめ」参加
- 11月28日 田辺市天神崎町内会防災の集い資料提供
- 10月31日 NPO 花つぼみ会主催フリーマーケット参加 田辺市新庄総合公園
- 2月18日 「人と動物の共生する社会の実現へ向けて」シンポジウム参加
オンライン配信

田辺市まちづくり補助金事業により

- ・「大人の犬猫でもいい家族になれるんだよ」パンフレット作成
※同封しているパンフレットです。
- ・ワンちゃん会ホームページリニューアル
※リニューアルにより飼い主募集中の犬猫が確認しやすくなりました。

- ・和歌山県地域猫対策への支援協力 20か所 のべ243頭
- ・野良猫不妊・去勢手術補助 63頭
- ・犬・猫譲渡 犬3頭 猫55頭
- ・地域猫推進相談 56人





「紀州ネコ砂」のご紹介

「紀州ネコ砂」とは田辺市龍神村、土木会社経営の川口さんが地元のスギ・ヒノキの間伐材で作ったネコのトイレ材の商品名です。

地元間伐材を使用することで、山の手入れや雇用の促進にもつながればという思いも込めて作られました。この「紀州ネコ砂」の開発にはワンニャン会も協力し、年初より一般モニターを募りアンケート調査も行ってきました。その中の意見でも評判は上々で、特に抜群の消臭効果に驚かされたという声が多く、清潔感のある木の香りがし今まではどうしても取りきれなかったトイレの匂いがほとんど気にならなくなった、ということでした。価格的にもリーズナブルで、燃えるゴミとして処分出来る事も魅力の一つです。

売上金（経費控除）はワンニャン会に寄付されます。システムトイレ（すのこ式トイレ）用の商品の為、これを機にシステムトイレにチャレンジしてみようという方には、ワンニャン会からお試しのトイレの貸し出しも行っていきます。

「紀州ネコ砂」の詳細は下記の通りです。手入れも楽でリーズナブルな「紀州ネコ砂」をこの機会に試してみませんか？

～紀州ネコ砂～

紀州間伐木材 ヒノキ 100パーセント使用・龍神産

- | | | |
|------|---|------------------------|
| 容量 | 2.5 リットル (1.4 キロ) | ※袋持参量り売りの場合 1 キロ/400 円 |
| 価格 | 600 円 | 税込み |
| 使用方法 | ・ネコ 1 頭につき 2.5 リットルで約一か月の使用が目安です。
・ウンチは毎日スコップなどで取り除いてください。
・交換は 1 か月に一度、全入替えしてください。 | |

(使用状態によって補充しながらご使用ください)

- ・使用後は燃えるゴミとして処分出来ます。

※今後内容量と価格は変わることがあります。

ご使用の砂から切り替える際は・・・

抵抗なく使用することも多いですが、よりスムーズに移行させる為に次の方法をお試しください。ネコのウンチを新しいトイレに入れ、自分のトイレという事を分かりやすくする。今までのトイレのそばに置いておきしばらくは併用する。

主な活動内容

- ・犬、猫の不妊手術の啓発推進活動
- ・犬、猫の不妊手術のサポート活動
- ・行き場のない犬、猫の飼い主探しの仲介
- ・子供の健全育成を育む活動
- ・犬、猫の育て方、しつけ相談
- ・地域社会での交流の場の提供

不用品提供のお願い

未使用切手、はがき、洗剤、古タオル、キャットフード、ドッグフード
浴衣や風呂敷などの木綿の布地

そのほか、バザー用品(衣類は未着用のもの、電化製品は不可)

このような不用品がありましたら、ぜひご提供をお願い申し上げます。

寄付のお願い

ワンニャン会の活動は、皆様の寄付によって支えられております。

賛助会員の募集もお願いしております。

ご不明な点などありましたら、お問い合わせください。

賛助会員年会費

- ・賛助会員 3,000 円
- ・団体賛助会員 10,000 円

振込先

郵便振替 口座番号 01080-7-36215

ワンニャン会 代表 中本宣子



2022・9

	会 報	
	第 17 号	

NPO法人 ワンニャン会事務局

携帯電話 090-5369-7855

ワンニャン会ホームページ

<http://wannyankai.com/>

